

2023年2月28日

報道関係者各位

令和4年度がん対策推進企業表彰において 「厚生労働大臣表彰 最優秀賞」を受賞

大東建託パートナーズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:佐藤功次)は、厚生労働省の委託事業である「がん対策推進企業アクション」による令和4年度がん対策推進企業表彰において、「厚生労働大臣表彰 最優秀賞」を受賞しました。

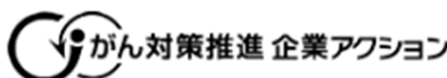
本表彰は、厚生労働省が推進する国家プロジェクト「がん対策推進企業アクション」が、がん対策に積極的に取り組む企業を表彰する制度です。「がん対策推進企業アクション」には、現在、推進パートナーとして約4,800の企業・団体が登録されています。その中でも、当社のがん検診をはじめとする取り組みが高く評価され、「厚生労働大臣表彰 最優秀賞」を受賞しました。

■ がん対策推進企業アクションの概要

2009年度にスタートした「がん対策推進企業アクション」は、企業・団体とともに、がん検診受診率の50%以上への引き上げと、がんになっても働き続けられる社会の構築をめざす国家プロジェクトです。がん対策推進企業表彰は、年に1回、推進パートナー約4,800企業・団体の中から、当年度「がん対策」に積極的に取り組んだ企業・団体を選定し表彰が行われるもので、表彰の内訳は厚生労働大臣表彰最優秀賞1社、がん対策推進パートナー賞(検診部門・治療と仕事の両立部門・情報提供部門・中小企業部門)です。



2023年2月28日表彰式



■ 当社の取り組み

【検診】

コロナ禍前は巡回型の職域健診にてがん検診を同日実施。コロナ禍においても2022年度より通院型の職域健診に5大がん検診を組み込み、全国の事業所に配置した健診担当者と管理職が一体となって受診管理を徹底しています。また、「精密検査受診完了までが健康診断」をモットーに、受診予約～結果報告まで把握できるフローを構築しました。二次検査結果については保健師が全対象者分を確認し、必要に応じてフォローを行っています。

【治療と仕事の両立】

治療と仕事の両立については、定期的な産業医面談を行うことで状況を確認し、本人、上司、産業保健スタッフ、会社でコミュニケーションをとりながら両立をサポートしています。在宅勤務や時短制度などの柔軟な働き方に対応し、安心して通院ができるような環境を作りにも配慮しています。

【情報提供】

衛生委員会でのがん教育、社内イントラでのがん情報の提供・e-ラーニング、社内報など様々な方法で「がん」について触れ、従業員だけでなく従業員のご家族へも、がん検診の必要性や会社のがん対策についてお伝えしています。